

2022年5月9日09:30 (日本時間) / 00:30 (協定世界時) まで公開禁止

## auじぶん銀行 日本サービス業PMI®

及び、auじぶん銀行 日本複合PMI®

### 4月のサービス業は拡大圏に回復

#### 主な動向

新規受注数減少の中、事業活動は4か月ぶりに増加

輸出高、2年半ぶり的大幅な上昇

景況感は昨年11月以来の高水準に

データ収集期間：2022年4月11～26日

2022年第2四半期に入り、新型コロナの制限措置が解除されたことで、日本のサービス業の事業活動は昨年12月以来初めて増加し、業況は再び拡大傾向に回復した。しかし、ウクライナ紛争と、中国の新型コロナ感染拡大が新規受注数増加を圧迫し、需要は過去4か月間で3度目となる減少を記録した。一方、企業らは中国以外の市場における成長を指摘し、輸出売上は4か月ぶりに増加し、増加幅は2019年10月以来最大であった。事業活動に対する企業の見通しも同様に強まり、景況感は5か月ぶりの高水準だった。

auじぶん銀行日本サービス業PMI®は、S&Pグローバルがサービス業約400社からの調査回答を基にまとめたものである。対象セクターには、消費者サービス(小売以外)、運輸、情報通信、金融、保険、不動産、ビジネスサービス等が含まれる。

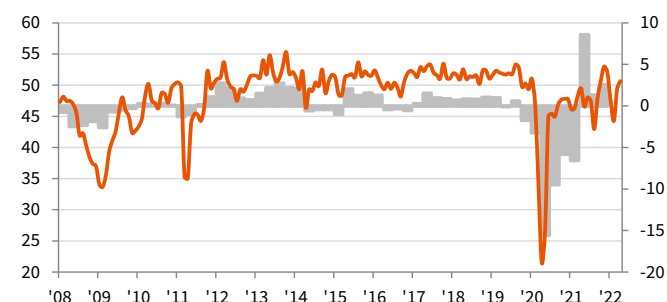
主要指標はサービス業事業活動指数で、事業活動量が前月比でどう変化したかを示す。数値が50を超えれば全体として前月比で増加したことを、50を割り込めば減少したことを意味する。

4月の日本のサービス業の季節調整済み事業活動指数は、3月の49.4から50.7へと上昇し、若干だが事業活動が増加していることを示した。新型コロナの制限措置解除により事業活動が回復したものの、ウクライナ紛争などの不透明要因のため、強い成長とはならなかった。

新規事業は、若干だが過去4か月間で3度目となる減少を記録

サービス業事業活動指数  
季節調整済み、>50 = 前月比で増加

家計サービス支出  
前年比(%)



出典：auじぶん銀行、S&Pグローバル・インク、内閣府

した。サービス業は、ウクライナ紛争と、中国の新型コロナ感染拡大による影響を懸念し、それが要因となって国内受注数が減少したことを指摘。しかし、アジア諸国外の成長により、海外需要は2年半ぶり最大のペースで、昨年12月以来となる上昇を記録した。

第2四半期に入り、雇用者数は3か月連続となる上昇を記録。企業らは、今後の需要回復を見込み、雇用増をはかったことをコメントに寄せた。さらに、雇用増加率は加速し7か月ぶりの高水準だった。一方企業らは、受注残が再び減少したことを指摘。過去4か月間で3度目となる。納入遅延や原材料不足、新規受注の低迷といった状況により、受注の消化に注力したことがうかがえる。

平均間接費は4月、17か月連続で上昇した。購買コストのインフレ率は3月から加速し、2008年8月以来最大だった。調査史上2番目に高い指数となる。調査回答企業らは、原材料価格の高騰と、人件費増を、インフレ要因に指摘した。しかし、サービス業のサービス単価は3月から横ばいである。間接費が上昇する中、企業らが利益を維持しようとしたためだ。

今後の事業活動についてサービス業は、今後1年にわたって増加するだろうと楽観的な姿勢を維持した。コロナ禍が収束して需要が広く回復するだろうという期待に後押しされ、景況感は5か月ぶりに高水準となった。しかし、中国の新型コロナ感染拡大や、ウクライナ紛争の影響が懸念されている。

## auじぶん銀行 日本複合PMI®

民間企業の生産高、  
4か月ぶりの早いペースで拡大

製造業とサービス業の複合生産高を測るauじぶん銀行日本複合\*PMI生産高指数は4月に51.1を記録。3月の50.3から上昇し、日本の民間企業生産高が小幅成長していることを示した。2か月連続の増加となり、昨年12月以来の高水準となった。サービス業は事業活動が再び上昇したことを報告した一方、製造業は横ばいで拡大が緩やかであることを示した。

しかし、4月の新規受注数がサービス業では減少し、製造業では増加が減速したため、複合新規受注数の増加は鈍化した。そのため新規受注数増加が停滞し民間企業の生産能力への圧力も緩和され、企業らは受注残の消化に注力した。結果、過去4か月間で3度目となる受注残減少へとつながった。

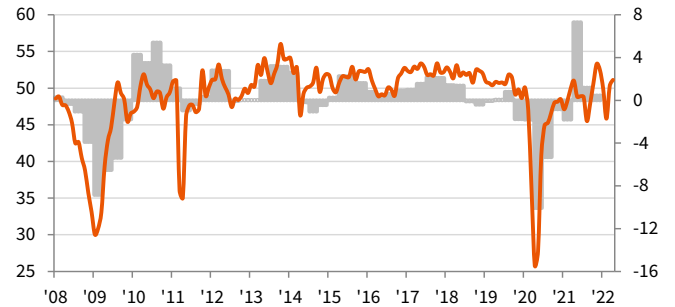
雇用者数は15か月連続の増加を記録。サービス業は昨年9月以来最も雇用を強化したことを反映し、複合雇用指数上昇ペースは3月から加速し、上昇率は7か月ぶりに最大となった。

企業らは、第2四半期に入り平均間接費が急増したことを報告。平均間接費の上昇率は調査史上2番目に高く、2014年4月以来最も急激なサービス単価上昇につながった。

\* 複合指数は製造業とサービス業それぞれの指数を加重平均したものである。加重値は、GDP公式データに基づく製造業とサービス業の相対的規模を反映している。日本複合生産高指数は、製造業生産高指数とサービス業活動指数の加重平均である。

複合生産高指数

季節調整済み、&gt;50 = 前月比で増加

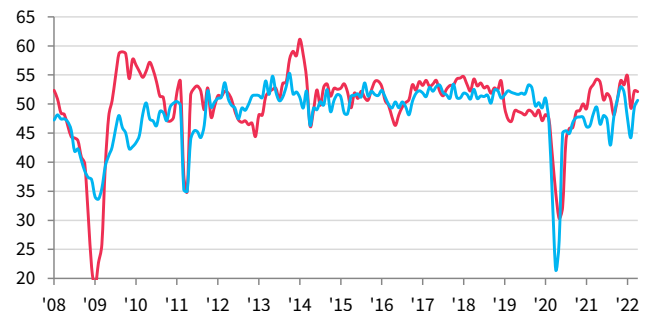
GDP  
前年比(%)

出典: auじぶん銀行、S&amp;Pグローバル・インク、内閣府

製造業生産高指数

サービス業事業活動指数

季節調整済み、&gt;50 = 前月比で増加



出典: auじぶん銀行、S&amp;Pグローバル・インク

## コメント

S&Pグローバル・インクエコノミスト、Usamah Bhattiによる最新調査結果についてのコメント

「2022年第2四半期に入り、事業活動が4か月ぶりに増加したことを受け、日本のサービス業は再び拡大圏に戻ったことを示した。新型コロナの制限措置緩和により、4月は顧客向け対面事業がしやすくなった一方、ウクライナ紛争や、海外の新型コロナ感染拡大による需要への影響が懸念され、日本のサービス業の新規受注数は再び減少した。

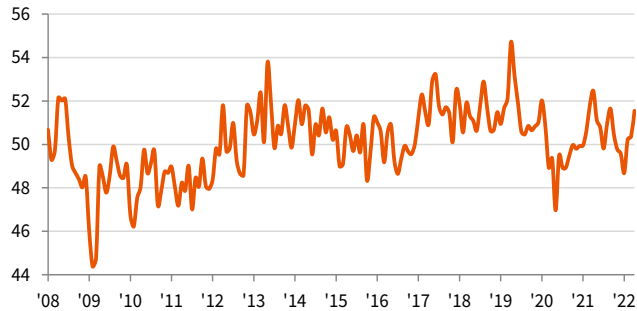
懸念による影響は国内市場で強い一方、日本のサービス業に対する海外の需要、特に中国以外の市場で受注数が増加し、外需は2019年10月以来最も早いペースで増加した。さらに、景況感は5か月ぶりの高水準となった。

第2四半期に入り、サービス業の事業活動が再び上昇したことを受けて、民間企業の事業活動は全体的に緩やかなペースで回復。しかし、需要が製造業とサービス業の両方で緩やかになり、民間企業らは新規受注数の伸びが鈍化していることをコメントに寄せた。

平均間接費は4月も引き続き上昇し、原材料不足と納入遅延、世界的な価格高騰の中、購買価格と販売単価の両方を調査史上で2番目に高い指数へと押し上げた。日本経済の見通しを下振れさせる主要リスクとして、価格と長引く供給問題、中国の新型コロナ感染拡大とウクライナ紛争が、挙げられた。しかし、企業らは生産高が今後1年で上昇するだろうと強く楽観的な姿勢を維持した。」

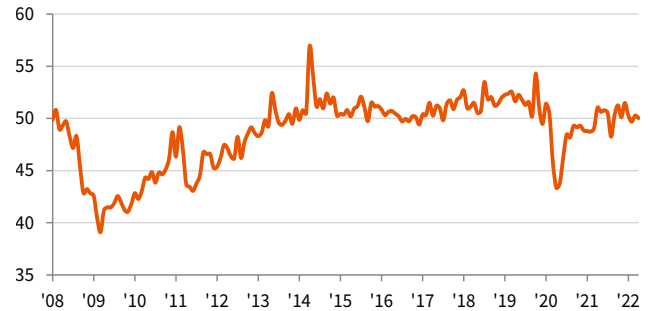
## サービス業雇用指数

季節調整済み、&gt;50 = 前月比で増加



## サービス単価指数

季節調整済み、&gt;50 = 前月比で上昇



## お問い合わせはこちらどうぞ

auじぶん銀行  
[Grp-S-I-Room@jibunbank.co.jp](mailto:Grp-S-I-Room@jibunbank.co.jp)

Usamah Bhatti  
 エコノミスト  
 S&Pグローバル・インク  
 電話: +44 134 432 8370  
[usamah.bhatti@spglobal.com](mailto:usamah.bhatti@spglobal.com)

Joanna Vickers  
 コーポレートコミュニケーション  
 S&Pグローバル・インク  
 電話: +44 207 260 2234  
[joanna.vickers@spglobal.com](mailto:joanna.vickers@spglobal.com)

## 調査方法

auじぶん銀行日本サービス業PMI®は、S&Pグローバル・インクがサービス業約400社からの調査回答をもとにまとめています。対象セクターには消費者サービス(小売以外)、運輸、情報通信、金融、保険、不動産、ビジネスサービス等が含まれます。調査対象企業は、GDPへの貢献度に従い産業セクターおよび従業員数別に階層化されています。

調査回答は前月比での変化を示すもので、各月の後半に収集されます。これにもとづき、サブインデックスごとの拡散指数(ディフュージョン・インデックス)を算出します。各指数は「増加/上昇」と回答した企業の比率と、「同じ」と回答した企業の比率の半分の合計です。数値は0~100の間で変動し、50を超えれば前月比で全体として増加したことを、50を割り込めば全体として減少したことを意味します。そのうえで指数に季節調整が加えられます。

主要指数はサービス業事業活動指数です。これは、事業活動量の前月比での変化についての回答から算出する拡散指数(ディフュージョン・インデックス)です。サービス業事業活動指数は製造業の生産高指数に匹敵します。「サービス業PMI」と表現されることもありますが、製造業の主要指数のPMIと同列のものではありません。

複合生産高指数は、製造業生産高指数とサービス業事業活動指数の加重平均です。加重値は、GDP公式データに従った製造業とサービス業の相対的規模を反映したもものとなっています。複合生産高指数は「複合PMI」と表現されることもありますが、製造業の主要指数のPMIと同列のものではありません。

基本的調査データは発表後に修正されることはありません。ただし季節調整要因は必要に応じ修正されることがあり、その場合は季節調整済みデータに影響が及びます。

2022年4月のデータ収集期間:2022年4月11~26日。

## PMI(購買担当者指数)

購買担当者指数™(PMI®)調査は現在、40を超える国々およびユーロ圏等主要地域で実施されています。世界で最も注目される景況調査として、各国中央銀行、金融市場、企業経営者の方々より、経済動向を知るための正確でユニークな最新月間指標としてご利用いただいております。詳しくは、[ihsmarkit.com/products/pmi.html](https://ihsmarkit.com/products/pmi.html)をご覧ください。

## 免責事項

ここに提供するデータの知的所有権はS&Pグローバル・インクに帰属し、もしくは使用が許諾されています。当データのいかなる部分についても複製、配布、伝達またはその他の行為を含む無許可の使用は、S&Pグローバル・インクから事前の承諾がない限り認められません。S&Pグローバル・インクとauじぶん銀行は、当レポートの内容またはそこに含まれる情報(「データ」)、データ上のいかなる間違い、不正確な記述、脱落、遅延による、またはそれに関連した責任、義務、負担のいづれをも負うものでなく、またこれにもとづきとられたいかなる行為についても責任、義務、負担のいづれをも負いません。当データの使用によって生じるいかなる特殊、偶発的もしくは間接的損害についても、S&Pグローバル・インクとauじぶん銀行は一切責任を負いかねますので予めご了承下さい。Purchasing Managers' Index™およびPMI®はMarkit Economics Limitedの登録商標、もしくはMarkit Economics Limitedに使用が許諾されたものです。S&P GlobalはS&P Global Ltd.及び/又はその関連会社の登録商標です。

ここに提供するコンテンツは、S&P Global Market Intelligenceが公開しています。S&P Globalの別部門であるS&P Global Ratingsが公開するコンテンツではありません。関係当事者から書面による事前の許可がない限り、形態を問わず、評価を含むいかなる情報、データ、資料(「コンテンツ」)の複製を禁止しています。関係当事者、関連会社、サプライヤー(「コンテンツプロバイダー」)は、コンテンツの正確性、妥当性、完全性、適時性、可用性を保証しません。また、いかなる間違いや脱落(疎漏など)、あるいは当該コンテンツの使用により生じた結果に対して責任を負いません。コンテンツのいかなる使用に関連するあらゆる損害、コスト、費用、弁護士費用、または損失(喪失利益や逸失利益、機会費用など)について、コンテンツプロバイダーは一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

PMI®

by S&amp;P Global

## auじぶん銀行日本PMIのスポンサーはauじぶん銀行株式会社です

auじぶん銀行は2008年にKDDIと三菱UFJ銀行の共同出資により設立されたネット専業銀行です。「手のひらにある銀行」として、口座・金融商品・決済などに関して、スマホユーザー視点でサービス展開をしております。キャッシュカードなしで入出金が可能な「スマホATM」、為替相場の動きを予測する「AI外貨予測」、Amazon Alexaへの対応など、ユーザーエクスペリエンスを豊かにするために様々な取り組みを行っております。

## S&amp;Pグローバル・インクについて

S&Pグローバル・インク(NYSE: SPGI)は、必要不可欠なインテリジェンスを提供します。適切なデータ、専門知識、コネクテッドテクノロジーの提供により、政府機関、企業、個人が確信を持って意思決定を行うことを可能にします。新規投資案件の評価から、サプライチェーンにおけるESGやエネルギー・トランジションまで、世界中において新たな機会を発掘し、課題を解決し、成長を加速させます。

世界の資本市場、コモディティ市場、自動車市場において、信用格付け、ベンチマーク、分析、ワークフローソリューションを提供し、グローバルのお客様の成長発展を支援します。

詳細についてはウェブサイトをご覧ください: [www.spglobal.com](http://www.spglobal.com)

S&Pグローバル・インクのプレスリリースを受け取りたくない場合は、[katherine.smith@spglobal.com](mailto:katherine.smith@spglobal.com)へお知らせください。弊社のプライバシーポリシーは、[ここをクリック](#)してください。